

比較地域特殊研究

担当者 谷岡 一郎

開講時期 通年 単 位 4

特殊研究は1～3年次の3年間を通して行われる演習科目です。

●講義の概要

観光学の分野における事例研究、文献研究、そしてシミュレーションを中心とする討議を行う。特にIR（統合リゾート）につき詳しく議論する。担当教員はわざと議論を提起し、学生の思考力やプレゼン能力を訓練することもある。

●講義の到達目標

相反する立場を客観的に観察し、比較した上で自分の意見をまとめること、さらに他人を説得しうるプレゼンテーションを行うことができるようになる。

●講義計画

観光学の分野の「カジノ」を特に詳しく扱う。カジノは経営、経済、法律、病理学、犯罪学、数学（統計学）など、多くの分野からのアプローチが必要であり、予習量も少なくない。

事例研究（主として海外）も行う。

●成績評価基準と方法

授業参加 40%

提出物 2本

中 問：IRについての知識を測るため（20%）

終了時：選択したトピックについての小論文（40%）

●テキスト又は参考文献

谷岡一郎・菊池光造（編著）『カジノ導入をめぐる諸問題①』

大阪商業大学アミューズメント産業研究所 2003年

谷岡一郎・岸本裕一（編著）『カジノ導入をめぐる諸問題②』

大阪商業大学アミューズメント産業研究所 2006年

谷岡一郎『カジノが日本にできるとき』PHP研究所 2002年

谷岡一郎『ギャンブルフィーヴァー』中央公論社 1996年

谷岡一郎・美原融（編著）『カジノ導入をめぐる諸問題③』

谷岡辰郎『IR〈統合型リゾート〉がわかる厳選キーワード500』

（絶版中のものについては貸出しをする）

●受講上の留意点

予習の上に立った討論が中心となるので、活発な参加を求む。